

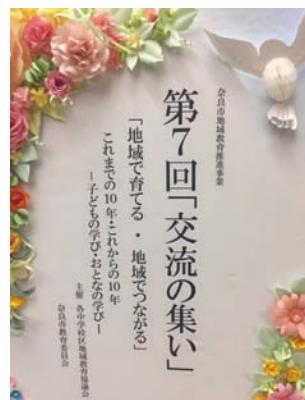
資料編

奈良市地域教育推進事業「交流の集い」について

「交流の集い」は、平成23年度より「奈良市地域教育推進事業」の成果発表や本事業に関わる全ての方々（地域人材・学校園教職員・行政）の交流を図るために毎年実施されています。他校区の取組を知る中で、地域コーディネーターの学び合いや事業の広報、本事業の持続を図るために次世代コーディネーターの育成などを目指しています。「交流の集い」を行うために、各校区から地域コーディネーター有志が集まり、話し合いを重ねながら開催に向けて準備をします。

第7回「交流の集い」の様子

各協議会のパネル展示



午前の部
子ども体験プログラム



午後の部
熟議

活動事例

地域で決める学校予算事業

活動例1 「地域と学校の連携・協働」中学校

地域教育協議会による教職員への研修

地域教育協議会の取組の説明や「めざす子ども像」等を共通理解する目的で行います。

これにより地域学校協働活動への教職員の理解が進みました。

地域教育協議会会长が、中学校区全学校園の新着任教職員に「地域学校協働活動」や「コミュニティ・スクール」について、研修しています。



活動例2 「放課後学習」中学校

基礎学力の補充（寺子屋事業）

中学生への学習支援を、教員とボランティア、コーディネーターが、情報を共有し、放課後や長期休業日に継続して実施しています。



活動例3 「プレゼンテーション能力や読書活動の推進」中学校

大学生と中学生によるビブリオバトル※の実施

生徒のプレゼンテーション能力を高めるため、大学生3名とともにビブリオバトルを体験します。プレゼンター全員の発表後、聴衆が最も読みたいと思った本に投票し、「チャンプ本」を決めます。

コーディネーター5名、生徒15名、管理職2名、国語教科教職員3名が参加した中学校での取組です。この中学校では、図書館活動やキャリア教育を視野に入れた生徒のプレゼンテーション活動を増やしています。

※ビブリオバトル：発表者が書籍1冊について、聴衆が読みたくなるようなプレゼンテーションを行うもので、ルールとして書籍の粗筋は説明しません。



活動例4 「授業プログラムへの支援」小学校

学習教材の作成

コーディネーターが毎週火曜に通う図書ボランティア（保護者）と一緒に始めた取組です。英語の授業で使うカードや校舎階段下に貼る学習パネル（国・都道府県・月・曜日など）を作成して、子どもたちが楽しめる授業のお手伝いをしています。

コーディネーターが学年毎のニーズを担任の先生方から聞き取り、完成した教材は、子どもたちにも大好評！

現在ではコーディネーターとボランティア約20名が「教材ボランティア」として活動しています。

階段下
都道府県パネル



英語カード

活動例5 「ものづくり体験」を小中一貫で実施

段ボールで家具製作体験活動

地域ボランティア（茶っぱまん隊）の協力を得て、段ボールを使った机や椅子、ソファー型ベンチを授業の中で作る取組です。

全校生徒（小学生44名、中学生19名）で4つのグループ分かれ、色々な家具を製作しました。

事前にデザインを考案し、上級生がリーダーとなりました。教職員だけでなく、地域ボランティアの方々の力が反映されました。

大人も子どもも真剣です。ダンボールの組立て、色塗りなどの工程を数回に分けて実施しました。

子どもたちは「ものづくり」や地域の方々との交流を楽しみました。

完成した家具の
一つ（ソファ）



放課後子ども教室推進事業

活動例1 大学と連携し、大学生を活用した取組

大学生と遊ぼう（宿題と宝探しゲーム）

この放課後子ども教室では、毎年ある大学の学生たちが、年2回放課後子ども教室を訪問、コーディネーターと打合せをして、子どもたちへの取組を企画・立案・実行します。

子どもたち（約60名）は、大学生18名と教室や図書室で宿題をした後、校内や校庭を駆け回り、大学生と共に宝探しゲームをしました。

右の写真は学生たちがルールを説明しているところです。



活動例2 社会教育施設を利用した取組

茶道体験

子どもたちの出席確認後、公民館へ移動し、茶室で茶道体験をします。日本の伝統文化を子どもたちに学ばせるため、社会教育施設と連携しています。茶道講師は地域の方。もうちせん毛氈以外の茶道具はすべて講師が準備してくださいます。

この放課後子ども教室では、茶道体験以外にも様々な分野で社会教育施設と連携・共催し、子どもたちに多くの体験や学びを提供しています。

《その他の連携例》

- ・「親子ストレッチ体操」**奈良市健康増進課**
- ・「わくわく！ チョウさがし隊」「囲碁教室」
- 「野鳥観察」「お箏体験教室」**公民館**
- ・「北部図書館がやってくる・図書館体験」**図書館**



活動例3 広い小学校区で、様々な地域の方が協力した取組

高学年を対象にした「ちぎり絵」体験

地域の方々と PTA 保護者、バンビーホーム放課後児童支援員など、子どもを取り巻く様々な大人たちが、児童生徒の体験活動の見守りやサポートを行います。

本市の放課後子ども教室では珍しい4～6年生対象の「ちぎり絵」体験です。

子どもたちは、地域の方に説明と手ほどきを受けます。作業を始め、しばらくすると方法が分かり、スピードアップ。時間内に見事なちぎり絵ができあがりました。子どもたちも自分の作品に大満足です。

多くの方々の協力を得て、素晴らしい作品の完成と達成感。

子どもたちは、有意義な時間を過ごすことができました。



活動例4 キャリア教育を目指す取組

子どもたちと共に創る地域の「まつり」

大宮地域最大のイベントであるおまつりに、毎年80名程の子どもたちが、企画や運営のスタッフとして参画する取組です。

30以上ある模擬店に、当番制でお手伝いに入ったり、環境ステーションでゴミの分別を指導したりします。

さらに、放課後子ども教室自主運営テントは、校内にあるコミュニティールームで、コーディネーターと何度も会議を重ね、子どもたち自身が考え決めた模擬店を、自分で運営します。会議では、模擬店運営の方法や利益の使われ方、ゴミの処理など様々なことを議論します。

大人と子どもたちが一緒になって考えるこの「キッザニア会議」は、アクティブ・ラーニングの一環として、他のイベントの時にも行っています。



活動例5 多様な地域資源（人材）を活用した取組

3つのプログラムを同時開催

学年齢にあわせ、各種団体・地域の方々が様々な工夫をして取り組んでいます。全体を統括するのはコーディネーターたちです。

地域民生児童委員企画のサンタ人形作り（高学年）

地域の民生児童委員5名がサンタクロースの人形作りの材料を用意し、子どもたち約30名を指導。



地域「女性防災クラブ」による防災紙芝居（低学年）

女性防災クラブ員6名が防災紙芝居を上演。1～2年生30名が熱心に聞き入りました。

コーディネーターによる紙飛行機作りとデモンストレーション（中学年）

コーディネーターが準備した「紙飛行機作り方マニュアル」を参考に、子どもたち26名が紙飛行機を作成。

試し飛行には、ボランティア5名も安全見守りをしています。



ここに掲載した活動事例は、ごく一部です。

本市全中学校区地域教育協議会では、学校園、地域コーディネーター、ボランティアが協働し、子どもたちの多様な体験や学びの機会を創出しています。



★奈良市教育委員会事務局 地域教育課では、地域教育推進事業の取組をTwitterおよびFacebookでも紹介しています。

公式 Twitter https://twitter.com/nara_chikyou



公式 Facebook <https://www.facebook.com/naracity.chiikikyouiku/>



おわりに

平成20年度に奈良市が、市内全ての中学校区に地域教育協議会の組織を立ち上げ、市民と協働した教育を推進して、はや10年が経過しました。

この間、幅広い地域住民や団体などの参画により、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動が展開されてきました。

平成29年3月には社会教育法の改正及び学習指導要領の改正が行われ、「より良い学校教育を通じてより良い社会をつくる」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す体制が整えられました。

特に地域と学校をつなぐ地域コーディネーターは、地域住民と学校との情報共有や地域住民等への助言を行う役割を担い、事業を推進する上で要となる存在です。

本ハンドブックは地域コーディネーターの役割や望まれる資質・能力を示し、地域コーディネーター活動の手引きとなるよう作成しています。

本市が掲げる教育目標「21世紀の社会をたくましく生き抜く人材の育成」の基本方針、市民と協働した教育を進める「30万人の市民を先生に」を実現していく上で、本冊子が地域コーディネーター活動の参考として活用され、地域学校協働活動が充実・発展することを期待しています。



メ

モ



問い合わせ先

奈良市教育委員会事務局 学校教育部 地域教育課 地域学校連携係
住所 奈良市二条大路南一丁目1番1号 TEL 0742-34-5366 FAX 0742-34-4764